



本日より通常の教育活動を再開しました。

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、昨年度末から長期にわたる臨時休校措置、そして5月中旬からの分散登校を経て、本日、通常の教育活動を再開することができました。これまでに経験したことのないような状況下で、社会生活のスタイルも様変わりしたようです。

流行の現状から、日々の生活が安心とはまだ言えません。学校生活を送るうえでも、引き続き、感染防止に向けて一人ひとりの正しく考えて動く「考動」力が必要です。自分だけでなく、周りの人の命・健康を相互協力によって守っていきましょう。また、このような状況から現に生じている偏見や差別を許さず、是正していく姿勢を大切にしていきましょう。節度ある「考動」をお願いします。そして、学校では、次のことについて相互に留意して過ごしてください。

- 1：朝学活で健康観察票をもとに健康状態を確認します。前日の検温、当日朝の検温を確実に
行い、健康状態について担任に伝えましょう。
- 2：正しく手洗いやうがいを行うとともに、消毒用アルコール噴霧器で手や指の消毒をしまし
ょう。
- 3：咳エチケットに留意し、咳やくしゃみをするときは、マスクをつけたり、ハンカチや服の
袖などで口と鼻をおおったりしましょう。
- 4：毎時間、教室の換気をします。空気の入替えをしましょう。
- 5：座席は、前後左右の間隔をあげ、一人ひとりの距離を保ちます。
- 6：意見交流するときや昼食時にも前後左右の間隔を維持し、近い距離で話をしたり食事をし
たりしないようにします。日頃の会話は、相互に一定の距離を保ちましょう。
- 7：体調がすぐれないときは自宅で休養しましょう。また、途中で気分が悪くなったり、しん
どくなったりしたときは、無理をせず先生に伝えましょう。
- 8：抵抗力を高めるために、十分に食事や睡眠をとり、規則正しい生活リズムの維持に努めま
しょう。

※学校では、教室やトイレの扉やレバー、スイッチ、手すり、水道蛇口ハンドル等の消毒を行います。

2020年度老上中学校チャレンジプラン！

本校では、昭和54年の開校以来、「自主・創造」を学校の校訓として、教育活動を積み重ねてきました。本年度は、「自ら考え、正しく判断し行動できる知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい生徒の育成をめざす」ことを学校目標としています。また、めざす生徒像として「考動する生徒になろう、わかりあえる生徒になろう、きたえあう生徒になろう」を合い言葉にしています。本年度のチャレンジプラン（重点目標とその具体的な方策）は次のとおりです。

【2020年度の重点目標】

【具体的な方策】

1	生徒の思いやりの心、自尊感情の育成をめざして、実効性のある道徳教育、人権同和教育を推進する。	教育活動全体での豊かな心の育成とその発揮の機会の設定
2	安定した学習規律のもと、基礎・基本の習得とその応用・発展を継続し、読み解く力の向上を図るとともに、学びを実感できる授業づくりの充実をめざす。	朝の会・帰りの会の前の考動タイムの活用、家庭学習への接続
3	生徒が主体的に課題を見つけ、意見を交わし、解決に向けて互いに学びを深めあう学習集団づくりを進める。	相互の学びの確認と活用の場の設定、議論する集団の形成
4	地域協働合校の趣旨とコミュニティスクールの有用性を基盤に、地域の教育力を活用し、一丸となって教育活動の活性化を常考する学校づくりを進める。	地の利をいかした活動の展開
5	体力の向上、健康で安全・安心な生活のために必要な関心・意欲・態度の醸成を図る。	健康・安全に係る留意と相互の協力、協働性の向上の機会の設定

この重点目標と具体的な方策をもとに、本校が大切にしている「考動」する力を実際の生活の中で駆動させていくことをめざします。

このチャレンジプランについては、本年度内に2回（前期8月・後期2月予定）の検証と評価を行い、改善を図るとともに、実効性のある計画・実践を図ります。

特に、コミュニティスクールの有用性を活用し、学校の教育力を向上させる観点から、検証と評価については、学校運営協議会において実施します。下図は、本年度のチャレンジプランをわかりやすく図にまとめたものです。



<保護者の皆さま> このたびの長期にわたる臨時休校措置等により、お子さまの体調や体力だけでなく心の健康も心配されますことから、様子等で気になることがありましたら学校までご連絡いただきますようお願いいたします。(老上中学校：077-564-4394)